

守護代

【北野社家引付】

一〇三六

北野宮寺領能登國菅原庄事、爲社家直務、差下代官上者、年貢諸公事以下嚴密可致其沙汰之由被仰出也。仍執達如件。

長享二 四月十四日

長 秀 在判
元 定

當所名主沙汰人等中

【北野社家引付】

一〇三七

北野宮寺領能州湯河・四柳事、爲社家直務、差下代官上者、年貢諸公事以下、嚴密可致其沙汰之由被仰出候也。仍執達如件。

長享二 四月十四日

長 秀 在判
元 定 在判

當所名主沙汰人等中

四月十九日。山城相國寺鹿苑院瑞智、安樂光院が一向宗徒と謀り、林光院領江沼郡橫北郷を違亂するを蔭涼軒に訴ふ。

【蔭涼軒日録】

一〇三八

林光院領加州橫北郷、御寄進以來致本役請取有之、無相違之處、自安樂光院掠給勅裁、不經公儀、相語一向宗本役百貫文仁五千疋増分契約、剩相殘領家方年貢、配當一向宗十員、于今押領、言語同斷子細也。然間度々雖被成御奉書、承引不仕候。御動座刻、爲郡并地下逐拂一向宗如先規可致院納候由注進候處、尙以安樂光院致好訴云々。此趣早々可預御披露候。恐惶敬白。

（長享二年）
卯月十九日

蔭涼軒

侍衣禪師

（鹿苑院）
瑞智 在判

【蔭涼軒日録】

一〇三九

就林光院賀州橫北郷事、自鹿苑院申狀如此候。然者任

寺家理運之旨、早々被成返御下知候様、御披露可然候哉。委曲猶寺官可申入候。恐惶謹言。

（長享二年）
六月五日

大館彈正少弼殿

二階堂山城守殿

結城越後守殿

（集證）
名 在判

【蔭涼軒日録】

一〇四〇

林光院領賀州橫北郷事、以鹿苑院被申候趣、御評定衆被仰合、任寺家理運之旨、被成返御下知候様、急度御披露可然候哉。委曲猶寺家雜掌可申候。恐々謹言。

（長享二年）
六月五日

松田丹後守殿

（集證）
名 在判

【蔭涼軒日録】

一〇四一

林光院所々目録

一、加賀國橫北郷年貢錢貳百貫文、此内百貫文安樂光院

本役遣之。請取在之。（下略）

長享二年七月二日

院主 瑞智 在判

【蔭涼軒日録】

一〇四二

就林光院領賀州橫北郷之儀、鹿苑院以一行被申候。仍彼院事者、公方様代々別而御崇敬、不混他御事候。任寺家理運旨、早々被成返御奉書候様、御披露尤可然存候。委曲使者僧可被申候。恐々謹言。

（長享二年）
八月三日

大館彈正少弼殿

二階堂山城守殿

結城越後守殿

（集證）
名 在判

御陣所

（安樂光院は山城泉涌寺に屬し、林光院は相國寺に屬す。）

七月四日。本願寺蓮如、石川郡專光寺に、諸門徒の惡行を誡む。